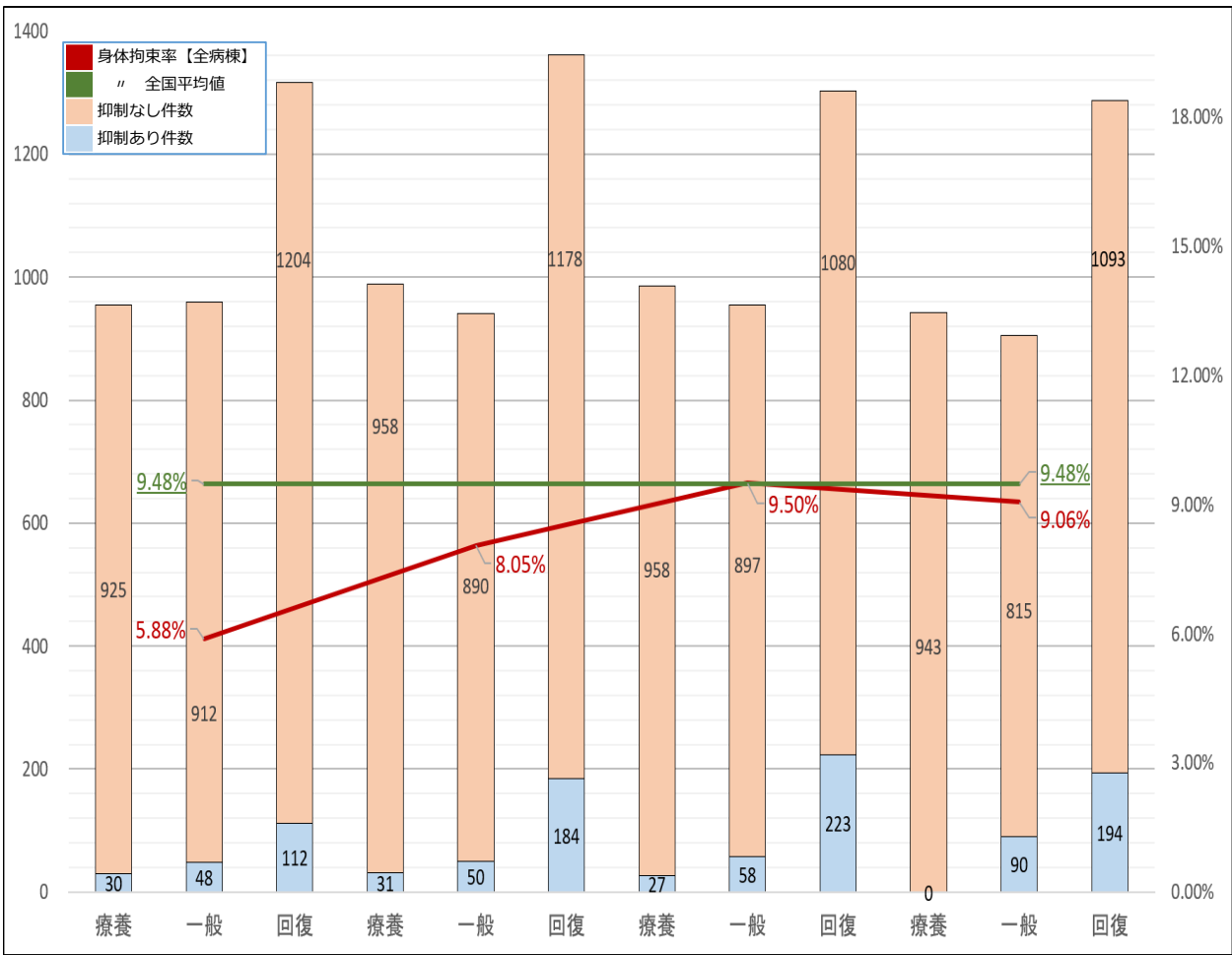


身体拘束最小化の取り組み

身体拘束率の推移

令和8年10月1日



(件)													(件)
	6月			7月			8月			9月			4ヶ月合計
ミトン	1	3	3	1	4	3	1	4	1	0	2	1	24
ベルト 安全	0	0	2	0	0	5	0	0	7	0	0	7	21
抑制帯	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4
介護服	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	6
拘束棟率別	3.14%	5.00%	8.51%	3.13%	5.32%	13.51%	2.74%	6.07%	17.11%	0.00%	9.94%	15.07%	

◆傾向◆

身体拘束率は身体拘束の必要性を見直すことで令和8年2月をピークに減少傾向となる。しばらくは横ばいであったが6月から安全ベルトの使用件数が増えたため身体拘束率は増加傾向となるも9月は微減となる。